

心ココロの散さん歩ぽ道みち
 (47) 公益財団法人
 モラロジー道徳教育財団

「感謝の種」に 気づける自六に



少しの間、目を閉じて、今朝、起きてからの出来事を思い返してみましよう。「今日の一日、誰の世話にもなっていない」と言い切れる日は存在するでしょうか。

私たちは、いつもどこかで、誰かに支えられています。それを自分一人の力で生きているかのように錯覚したとき、人生の迷い道に踏み込んでしまうかもしれません。そうならないためにも、日常を振り返り、「おかげさまで」という気持ちを感じ起こしたいものです。

世の中には、客観的には恵まれた境遇にあっても、どこか満たされない人もいます。一方で、困難な課題を抱えながらも生き生きと暮らしている人もいます。

その違いは、暮らしの中に隠れている「感謝の種」に気づくことができるかどうか、かもしれません。仕事や人間関係に何かしらの不満

を抱いていると、周囲にも

不穏な空気が広がります。しかし「おかげさまで、ありがたい」と思える物事が増えるほど、心は落ち着き、喜びを感じる機会も増えていきます。また、感謝の気持ちを素直に表していけば、周囲との関係にも、潤いと温かさがもたらされることでしよう。

(参考)モラロジー道徳教育財団「ニューモラル」六四〇号)



■公益財団法人モラロジー道徳教育財団 広報部

04-7173-3341

■道徳を考える月刊誌 『ニューモラル』最新号贈呈

住所・氏名・電話番号・「なのはなシニア千葉」を明記の上、FAX (04-7173-3324)にてお申し込みください。